

個人投資家様向け会社説明会（SMBC 日興証券福岡支店）質疑応答要旨

日時：2026 年 9 月 11 日

説明者：IR 部 シニアマネージャー 吉田 恵太

1. 少子高齢化で日本のマーケットが縮小していくと見込まれる中、国内ビジネスの成長機会をどのように考えているか

市場自体は少子高齢化により縮小が見込まれる一方で、国内には出資や提携を含め、なお大きな可能性があると考えている。例えば、先日公表した電通総研への出資については、IT サービス領域において当社グループの中核を担う CTC との協業が期待できるだけでなく、電通グループとファミリーマートとのリテールメディア事業で連携することで、購買データを活用した広告分野での成長も期待している。商社はメーカーではないため、自ら製品をつくるというアプローチは取れない。一方で、当社が抱えている幅広い事業領域を活かし、適切なビジネスパートナーと連携しながら新たな価値を生み出せる点は、まさに商社の機能そのものだと考えている。そうした機会は、むしろ今後さらに増えていくと考えており、国内市場にはまだ十分なチャンスと可能性があると感じている。

2. データセンター投資において、展開を想定している国はどこか

先日、日本経済新聞でも報じられた通り、現時点では国内が中心となる想定である。稼働開始までは相応に時間がかかり、4~5 年を想定している。

3. 就職ランキングで人気の理由は

着実に利益成長を実現してきたことも理由の一つと考えられるが、朝型勤務の導入をはじめとする働き方改革など、この 10 年ほど社員の生産性向上を後押しする施策を継続的に打ち出してきた。そのような取り組みも、学生の皆さまから評価されている理由の一つなのではないかと考えている。

4. AI を普段どのように業務で使っているのか。また、伊藤忠のビジネスではどのような活用をしているか

日常業務では、議事録の作成などに活用しており、日本語・英語の双方で使用している。また、AI は Web 検索機能も強化されてきており、情報収集や資料の取りまとめなどにも有用である。一方で、誤った情報が含まれることもあるため、ファクトチェックは欠かせない。非常に便利なツールではあるが、現時点では注意しながら活用しているというのが実情である。当社グループのビジネスにおいては、例えば CTC が製造業向けにフィジカル AI 導入・開発を支援している事例がある。また、間接的には、当社が展開する北米電力事業も、AI 需要の拡大に伴う電力需要の増加という面で恩恵を受ける可能性がある。

5. 従業員の女性比率は。また、女性社員も海外駐在の機会があるのか

従業員に占める女性比率は約 3 割弱。また、海外駐在において性別による機会の差はなく、実際に女性社員も海外駐在の場で活躍している。

以上